

地域の将来像：住んでいる人々が誇れる郷 明日の小山田の創造

# コミュニティだより 2022.1.15 第60号

明日の小山田を考える会の目的は、住んで良かった・ずっと住み続けたい・住み良い地域を創ることです。そのためには、地域の皆さんの積極的な関わりが必要です。

## 東日本大震災津波を語り継ぐ日



今年度第2回目の「震災学習」を11月23日に行いました。今回は陸前高田・大船渡の震災当時から現在までの復興状況を観て回りました。両市とも震災前の町の面影はほとんど消え去り、また海岸線には12mを超える防潮堤が連なっており、昔のように車窓から海を眺めることは出来なくなっていました。東日本津波伝承館では当時の状況、避難所生活の様子などの展示を見つめ、10年前を振り返っていたようです。併設する祈念公園では「海を望む場」で静かに両手を合わせ、海に向かって祈りを捧げる参加者の姿も観られました。午後は大船渡に向かい、震災ガイドの案内で、住民が必死の思いで急な階段を上り避難した高台の「加茂神社」から大船渡湾を眺め、当時どんな気持ちで海を見ていたのかと思うと考えさせられるものがありました。県では令和3年2月に条例を制定し、3月11日を「東日本大震災津波を語り継ぐ日」としております。



## 女性たちの「ママカフェ座談会」



12月15日、小山田に移住して来た女性や嫁いで来た女性を対象に「ママカフェ座談会」を小山田振興センターで開催しました。当日は8名の方々が参加し、最初は自己紹介を兼ねたアイスブレイクから始まり、小山田に住んで驚いたことや、生まれ育った場所との違いで悩んだことなどいろいろな話題で盛りあがっていました。小山田に住んで十数年という方もおり、既に小山田に溶け込んでいる方も多く「こんな小山田がいい。魅力的な小山田！」の話題になり、これからの小山田が楽しみになりました。



# 今年度の「にこにこサロン」の締めくくりとして



11月30日、今年度最後の「にこにこサロン」を開催し会員30名の参加をいただきました。花巻警察署小山田駐在所の奥谷巡查部長をお招きし、「高齢者のための交通安全教室」と、年末にかけて多くなる「特殊詐欺」の防止についてお話をいただきました。



近年県内に於いても自治体職員を語っての還付金詐欺などが発生しているとの事です。皆さんも注意をしましょう！その後、今年度の締めくくりとして「桜花扇会」の舞踊で楽しんでいただきました。コロナ渦の影響で各地域のお祭りが縮小や中止などで舞踊を見る機会が少なくなり、久しぶりの舞踊に見入っていました。最後は皆で輪になって「炭坑節」を踊りました。

# 文字を書くのがちょっと苦手な方のための



11月に5回の日程で、湯本の中島八重子さんを講師としてお招きし「きぬかわカレッジ 書道教室・美文字レッスン」を開催しました。正しいペンの持ち方ときれいな文字を書くための姿勢などの基本から始まり、ペンでの楷書体・行書体の文字の書き方・バランスのとれた文字の書き方など暮らしに役立つ文字の書き方の指導を受けました。受講生は心静かに紙に向かいペンを走らせ、書道教室が終了する頃には皆さん文字を書くことが楽しくなり、美文字になった自分の文字に感動していました。



# 里山・農用地の整備作業に向けて



今年度2回目のチェーンソー講習会を12月3・10・11日に開催しました。屋外での実技もあり天候を心配していましたが、三日間天候に恵まれました。今回は女性の参加もあり、最初は慣れない手つきで操作していましたが、

18時間の講習を終え最終日に修了証を受け取りました。伐木作業や倒木処理作業の多くなる時季ですので皆さん安全な作業をお願いします。



# 「紙ねんど工作教室」干支の寅づくり



12月27日、石鳥谷町の鎌田友律子さんを講師としてお招きし「紙ねんど工作教室」を23名の参加をいただき開催しました。2022年の干支「寅」の可愛い置物を講師の説明を聞きながら、来年も良い年になりますようにと願いをこめ作っていました。細かい作業もあり低学年の児童にはちょっと難しいところもありましたが、お父さんお母さんに手伝ってもらいながらも完成させていました。中には、寅の置物の側に置くダルマや鏡もち・お団子などの小物を作っていた児童もいました。



すようにと願いをこめ作っていました。細かい作業もあり低学年の児童にはちょっと難しいところもありましたが、お父さんお母さんに手伝ってもらいながらも完成させていました。中には、寅の置物の側に置くダルマや鏡もち・お団子などの小物を作っていた児童もいました。



# 今年も本格的な雪のシーズンが到来

今年も本格的な雪のシーズンが訪れました。花巻市の軽度生活支援事業登録者以外で、おおむね65歳以上の一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯等で、別居の家族、親族等から除雪の支援を受けられない世帯を対象に、自力での除雪作業が困難な方々を支援するため、小型除雪機を導入しました。除雪作業でお困りの方は行政区長・民生委員・事務局までご連絡ください。



## 【除雪作業料金】

除雪作業費：1,400円/時間

除雪機運搬費、燃料代は当会より助成します。

令和3年12月末現在

( ): 前月比

小山田の人口	世帯数/戸	男/人	女/人	計/人
第1行政区	58 (0)	89 (0)	73 (0)	162 (0)
第2行政区	147 (0)	204 (-3)	195 (0)	399 (-3)
第3行政区	156 (0)	218 (0)	231 (-1)	449 (-1)
第4行政区	110 (-1)	182 (1)	174 (-2)	356 (-1)
計	471 (-1)	693 (-2)	673 (-3)	1,366 (-5)

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています

特殊詐欺に注意を！！  
3文字でわたしダメされない  
～大事なお金を守るのは  
「わたし」～  
わたさない…キャッシング  
たしかめる…家族  
しゃべらない…暗証番号  
(花巻警察署小山田駐在所)

発行：明日の小山田を考える会 電話：0198-42-2941  
ホームページ：http://www.asuno-oyamada.jp  
メールアドレス：asuno-oyamada@tuba.ocn.ne.jp

## 民主主義国家はもはや世界の少数か？

明日の小山田を考える会  
会長 菊池 保守

小山田地区民の皆様 新年あけましておめでとうございます。

今年は、1月の花巻市長選、7月の花巻市議会議員選、参議院議員選と選挙の年です。

どうか皆様には私たちの権利である選挙権を行使し、私たちの代表に私たちの未来を託しましょう。選挙権は民主主義の根幹を指す大切な権利です。



さて、アメリカのバイデン大統領は昨年12月9日世界の約110の国、地域を招待し、オンライン形式での民主主義サミットを開催しました。これは、中国などの国による専制主義の台頭を牽制し、自由、民主主義、法の支配、基本的人権などの普遍的価値観を共有し、民主主義が世界的に衰退している状況を改善したいとの思惑があつてのことです。

そこで、意外なことに世界的に民主主義が衰退し、専制主義が台頭していることに気が付きました。ミャンマーや香港がそのいい例です。

スウェーデンの調査機関であるV-Demによると、2019年の民主主義の国・地域は世界で87に対し、非民主主義の国・地域は92と18年ぶりに非民主主義国が上回ったとのこと。人口で比較すると、2020年に民主主義国で暮らす人は世界の46%、と半数を割っています。

なぜこのように少数派に転じたか、諸説はあるようですが、最も有力なことと思われるのが、ハンガリーの例で申し上げると、民主化をすれば豊かになれる、と夢見て民主化になったものの、賃金がEUの3分の1にとどまるなど貧富の格差が拡大した結果、人々の不満がたまり再度強権体制に転じた例があります。

民主主義大国アメリカでも貧富の格差が拡大し、わずか1%の富裕層が国全体の資産の33%を保有、低中所得者の保有する資産は2%、これは2019年の調査ですが、1989年時点では低中所得者は4%、富裕層が26%だったことから貧富の格差がますます拡大していることになります。こういう背景から、トランプ大統領が当選し、これまでの国際協調路線から大転換し、自国第一主義になったものと推測されます。

これまで民主主義を支えてきた中間所得層が減少しているところに民主主義の脆弱性が表れてきているのではないか？わが国でも岸田総理が中間層拡大のため所得の分配を掲げているのも、民主主義の危機の表れかもしれないと思うこの頃です。

【編集後記】 明けましておめでとうございます。年が明け、東日本大震災から11年という年月が経とうとしています。私たちはそれを単なる災害の記憶とせず、私たちが今どこに住んでいるのか、そこがどういう場所なのか、過去にどんな災害があったのかを考えてみる必要があるのではないのでしょうか。そのことから、事前に被害の未然防止や災害が起きた時の対応や対策を改めて考えてみてはいかがでしょうか。(菊池)

